

平成 30 年 7 月豪雨災害における本会の対応について

災害対策委員会 下田栄次

平成 30 年 7 月 6 日～8 日にかけて長崎、福岡、佐賀、広島、岡山、鳥取、京都、兵庫、岐阜、高知、愛媛に大雨特別警報が発表され、最終的に運用を開始して以来最多となる計 11 府県で大雨特別警報が発表されました。この豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が 200 人を超える甚大な災害となりました。また全国で上水道や通信といったライフラインへの被害や交通障害が広域的に発生しました。大規模多地域災害として、前例のない災害となっています。発災後には合計 1 万 2 千人を超える避難者を出し、今なお避難所生活を余儀なくされている方々が多くいます。

(公社)日本理学療法士協会(協会)では、7 月 9 日に災害対策本部を立ち上げ、災害救助法が適用された府県理学療法士会事務局を中心に被害の有無を確認した上で、会員安否ならびに被災状況の情報収集を依頼、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会：Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (JRAT) と連携しながら災害支援活動を開始しています。また各県の地域 JRAT においても災害対策本部が設置され、調整本部(県庁)や現地災害対策本部(市町村)、保健所や社会福祉協議会と連携しながら、災害時要援護者(避難行動要支援者)に対するリハビリテーション支援が実施されています。

7 月 13 日には、JRAT 東京本部(事務局 一般社団法人作業療法士協会)より JIMTEF(公益財団法人 国際医療技術財団)災害医療研修コース修了者および第 53 回日本理学療法学会研修大会 in 茨城における災害理学療法研修(災害と理学療法)修了者を対象に、岡山 JRAT への本部支援(ロジスティクス：ロジ)・現地支援(避難所等巡回支援)の要請がありました。併せて、JRAT 東京本部への支援要請も JRAT 構成関連団体に入りました。

主に岡山 JRAT ロジおよび現地支援隊に関しては、近隣ブロックおよび九州ブロックを中心に編成され、JRAT 東京本部への支援要員は主に関東圏より調整されています。

本会では、7 月 23 日より本会災害対策委員会の JIMTEF 災害医療研修コース修了者 2 名が直接召集され、JRAT 東京本部にてロジ支援を行っています。8 月末にかけて、継続的な支援に向かう予定となっています。岡山 JRAT ロジ支援要員や現地支援隊の派遣調整およびその他の対外的な対応をしています。

協会では支援金の募集もしています。引き続き皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

